

(参考) 未来市について

【基本情報】

名称：華山 1914 文化創意産業園にあるセレクトショップ「未来市」

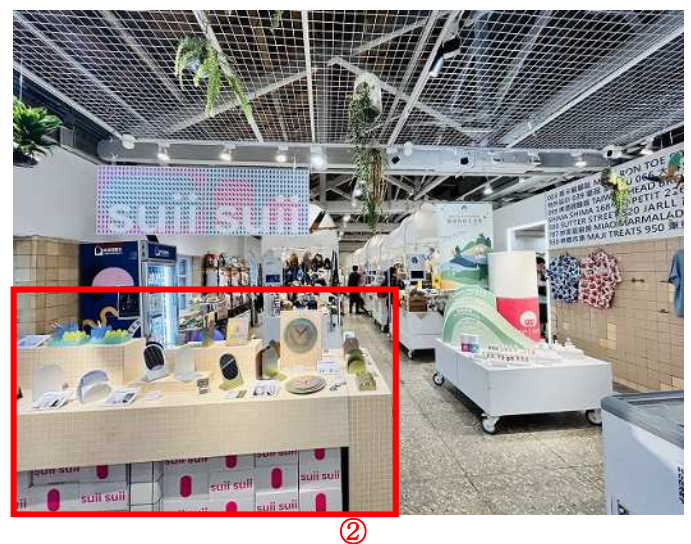
住所：No.1,Section1,Bade Rd,Zhongzheng District,Taipei City

概要：台北の華山 1914 文化創意産業園区は、アート、デザイン、ファッションなど、さまざまなクリエイティブなイベントや展示会が行われる場所として知られています。

【外観】



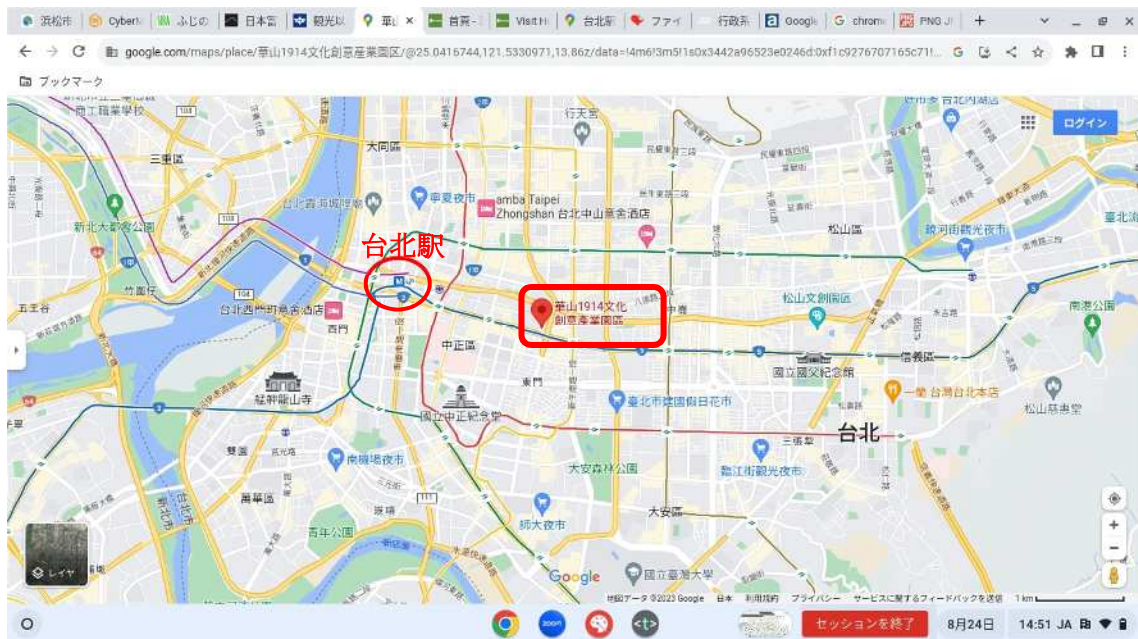
【出店スペース】



★ディスプレイ面積 ① 約 150×150cm (基本枠 2 つ) ②約 180×100cm (基本枠 1 つ 60×100 cm、チャレンジ枠 60×50 cm 4 つ)

★出店スペースは、出店者および出店品の決定後に主催者にて調整させていただきます。

【マップ】



【ターゲット層】

現地の 20～40 代、観光客も多く来所

【現地の嗜好性】

台湾市場で特に人気のあるデザインや嗜好の傾向について

①ミニマリズムとシンプルさ

台湾では、シンプルで洗練されたデザインが好まれる傾向。特に日本のミニマリズムに共感する層が多く、無駄を省いたクリーンなラインや控えめなカラーリングが人気です。

②機能性と実用性

日本のアパレルの機能性や実用性は、台湾でも高く評価されています。特に、多機能や、着心地の良さを重視した素材選びは好まれる要素です。

③文化的要素の融合

日本の伝統文化をモダンにアレンジしたデザインは、台湾でも人気があります。例えば、和柄や伝統的な工芸技術を取り入れたデザインは、日本らしさを感じさせつつも現代的なファッションやプロダクトとして好まれます。

④カワイイカルチャー

「カワイイ」文化は台湾でも非常に人気があります。キャラクターやポップで可愛い色使い、小物やアクセサリなどは、特に若年層の女性に人気です。

⑤限定商品やコラボレーション

限定商品や日本国内でしか手に入らないアイテムは、台湾の消費者にとって魅力的です。

⑥サステナビリティ志向

台湾では日本よりサステナビリティに対する意識が高いです。エコフレンドリーな素材を使用したり、環境に配慮した製造プロセスを採用したりすることで、意識の高い消費者層にアピールできます。